31.1.15

岡山市区づくり推進事業助成申込書

（地域活動部門）

[redacted]

平成　31年　　1月　　15日

岡山市長　　大　森　雅　夫　　様

フリガナ　ツクリヤマコフンソセイカイ
団体名　　造山古墳蘇生会
所在地　[redacted]
連絡先
フリガナ
代表者　役職・氏名
カイチョウ　サダヒロ　ヨシカズ
会長　　定廣　　好和 [redacted]

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	（該当の分野を○で囲んでください。） ㋐ 地域課題解決　　イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり　オ その他
事業名称	日本遺産認定の造山古墳を全国へ発信
事業実施小学校区・地区	加茂学区
事業実施回数	新規 ・ (継続)　　5回目　/ 【 26 年度から】
課題	①中山間周辺地域で話題が少ない加茂学区に話題を継続的に提供する必要がある。 ②日本遺産認定27か所の一つに入り、地域が今まで以上に関心を持ち、価値を知り、誇りを醸成させる必要がある。 ③学区を活気づける為にも「造山古墳」の知名度を市内外はもちろんのこと全国に向け高める必要がある。 ④日本第4位である造山古墳の書籍が無い。
事業の目的	①日本遺産認定の記念すべきシンポジウムの内容を地域が取組んで、市内外はもとより全国へ発信する。 ②日本遺産認定を風化させない為に造山古墳の価値を更に高め、周知させる。

事業の内容	①シンポジウムの書籍化・自費出版 ②ガイドマップ・案内パンフレット児童向け冊子等の製作と提供 ③ガイド養成講座・研修会・講演会の開催 ④校外学習の児童・生徒や一般見学者へのガイド活動 ⑤高松中学校の「地域調べ」・「高松歴史教室」に協力 ⑥加茂小学校の「総合学習」に協力 ⑦吉備路ボランティア観光ガイド（総社市）との交流 ⑧古墳及び周辺の清掃奉仕活動（高松農高1年生、加茂小6年生・保護者及び高松地区環境衛生協議会等との合同）
期待される成果・目標	①書籍配布と委託販売の２本立てにより日本遺産認定の周知と造山古墳の価値及び存在を県下及び全国に広める事が出来る。 ②造山古墳へ関心が高まり、見学者が増える。 ③様々な話題を地域へ提供する事で活性化促進 ④地域の小・中学校との連携により郷土への愛着心を育ませる
企画などの工夫	①シンポジウムに古代吉備の中心である備中の２大巨墳を取上げる事で造山古墳の偉大さや価値を比較出来る企画とした。 ②この企画を取りまとめ、今回の自費出版に繋げる。 ③平成30年日本遺産認定により記念シンポジュウムを開催、31年は造山古墳蘇生会の発足10周年を迎え、自費出版もこの記念すべきタイミングを捉えた。 更に翌年には、ビジターセンター完成・千足古墳完工等もあり第4回古墳まつりを開催し地域に話題を継続的に提供する。
協働する団体等	講師及び著作協力：岡山大学（新納泉特任教授）・岡山理科大学（亀田修一教授）・総社市文化課埋蔵文化財学習の館（平井典子館長） 企画協力：岡山市教育委員会 会場設営：岡山市立高松公民館 書籍出版：株式会社吉備人 清掃活動：高松地区環境衛生協議会・加茂小学校・加茂小ＰＴＡ・高松農業高校
事業の情報公開	①加茂学区連合町内会ホームページ ②造山古墳蘇生会ボランティアガイドホームページ ③岡山市立高松公民館「まつかぜ」掲載 ④町内会回覧チラシ・ポスター ⑤その他、新聞・ＴＶ等マスメディア

学区地区への広がり	※小学校区・地区より狭い範囲（単位町内会等）での事業を実施される場合は、学区・地区等への活動の広がりや課題の共有などをどのように進めていきますか。取組方について記載してください。
前年度からの見直し拡充点	①昨年は異常高温が続いた事もあり、ガイド・見学者の健康に配慮し、家庭用テントを断続的に設置したが、今年は日本遺産認定効果で見学者が増えると見込み、安全対策を講じた上で、一定期間継続設置とする。 ②昨年は兵庫県朝来市大蔵自治協議会や吉備路ボランティア観光ガイド（総社市）との交流が出来たが、今年も新たな交流を実現し、造山古墳及び蘇生会の知名度を上げていく。 ③シンポジウム開催の構想から今年の自費出版実現に繋げる事が可能になり、地域に与える話題性は大きい。知名度アップを図る為にも効果的な配布先を考える。 ④ビジターセンターや千足古墳の完工を期に更に地域を盛上げる事を企画する。
次年度以降の予定	※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。 ①次年度以後の活動計画 2020年4月　（仮称：ビジターセンターオープン記念）第4回造山古墳まつり開催予定 以降、“人が集まる方策”を検討し、実施の予定 ②資金の確保について ☑次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☑（　2　）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策： ①新規協賛者の確保 ②土産物の現地販売 ③生産者参加で生鮮野菜・果物・弁当などの販売（定期朝市等への協賛）
その他PRしたい点	①活動が多岐 ・歴史文化遺産の語り継ぎ・地域振興・異世代交流・高齢者の生きがいづくり・青少年の健全育成 ②蘇生会と公民館との協働 ・ボランティアガイド養成講座・特別講演会「鴨屋塾」開催等 ③造山古墳まつり （4年毎開催） ④蘇生会ガイドのページ （ＵＲＬ　http://kofun.aikotoba.jp/）

事業スケジュール　（企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。）

月日	活動内容
４月	前年の反省会及び校外学習シーズン前準備会議・ガイドマップ手配 校外学習案内開始・ガイドミーティング・待受けガイド（日・祝日） 製本企画構成編集作業・ビジターセンター関連会議（予定）
５月	平成31年度総会・第4回古墳まつりプロジェクト立上げ 校外学習案内・ガイドミーティング・待受けガイド（日・祝日） 草刈り作業・製本企画構成編集作業・ビジターセンター関連会議（予定）
６月	校外学習案内・ガイドミーティング・古墳まつり企画会議 ・待受けガイド（日・祝日） 製本校正・ビジターセンター関連会議（予定）
７月	ガイドミーティング・待受けガイド（日・祝日） ガイド懇談会・古墳まつり企画会議 製本校正・出版打合せ・ビジターセンター関連会議（予定）
８月	ガイド研修会・古墳まつり企画会議 草刈り作業 出版打合せ
９月	待受けガイド（日・祝日） 古墳まつり企画会議 書籍配布・販売（予定）
１０月	待受けガイド（日・祝日） 古墳まつり企画会議
１１月	待受けガイド（日・祝日） ガイド県外視察研修（予定） 古墳まつり企画会議
１２月	待受けガイド（日・祝日　但し12／16以降休み） 古墳まつり企画会議
1月	ガイド養成講座（予定） 古墳まつり協賛募集 古墳まつり企画会議
2月	ガイド養成講座（予定） 造山古墳クリーン大作戦 （加茂小6年生・保護者・環境衛生・地元住民等） 古墳まつり企画会議・古墳まつり協賛募集
3月	ガイド養成講座（予定） 待受けガイド（日・祝日） 古墳まつり企画会議・古墳まつり協賛募集

収 支 予 算 書

◆収　入

単位：円

項　　目	前年度決算 (決算見込可)	予　　算	備　　考
岡山市補助金	180,000	500,000	(100 円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	89,500	454,000	
参加者負担金	135,500	135,500	
協賛金	70,000	100,000	
寄付、他収入	6,000	10,500	
計	481,000	1,200,000	

◆支　出

単位：円

費　　目	前年度決算	予　　算	備　　考
消耗品費	30,000	40,000	インク・用紙・文房具
食糧費	30,000	30,000	会議お茶代・ガイド飲料
印刷製本費	185,000	900,000	書籍出版・パンフ・チラシ
通信運搬費	45,000	50,000	郵送料・電話代
報償費	45,000	140,000	講師謝礼
保険料	19,000	20,000	ガイド傷害保険
旅費交通費	0	10,000	講師交通費
原材料費	0	0	
使用料	20,000	10,000	借室料
その他経費	107,000	0	慶弔・災害見舞・手土産
計	481,000	1,200,000	

◆概算交付の要否（いずれかに○をしてください）。（補助金額が20万円を超える場合のみ）

補助金の概算払いを	○希望する　・　希望しない

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

入金より支出が先行発生する場合の備えとしておきたい。

注①：前年度決算額が確定してない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・光熱水費・通信運搬費・広告料・手数料・使用料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。